

走行チェックシート

日付	2010年6月13日 (日)		時間	~	イベント	"Road to 8hours" 鈴鹿300km耐久ロードレース		
天気	雨		マシン	GSX-R1000 L0	ライダー	新庄雅浩・民辻啓		
コース	名称	鈴鹿サーキット			気温	29.5	°C	
	コンディション	WET			気圧	1012	hpa	
	路面温度	- (計測時間)			湿度	68	%	
エンジン	スパークプラグ	NGK R0045Q-10		エンジンOIL	シェルアドバンス #40			
	ファイナルレシオ	15 × 42(2.80)						
トランスミッション	1st	B(35/16)	2.19	4th	B(31/21)	1.48		
	2nd	B(34/18)	1.89	5th	C(22/30)	1.36		
	3rd	B(36/22)	1.64	6th	C(32/25)	1.28		
フロント	パーツ名	SHOWA(760mm)		TEN	-18			
	スプリング	9.75	N/m	OIL	SR6 #5			
	自由長	-	mm	油面	140	mm		
	イニシャル	14	mm	残ストローク	mm			
	COMP	-18		突き出し	STDトップブリッジで8mm突き出し mm			
リア	パーツ名	SHOWA(321.5mm)		TEN	-15			
	スプリング	120.0	N/m	残ストローク	mm			
	自由長	-	mm	リンク	STD			
	イニシャル	10	mm	リンクロッド	140	mm		
	COMP(HI)	MIN		車高	STD+26mm ピボット0mm スイング長603mm mm			
	COMP(LO)	-15						
タイヤ	フロント			リア				
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ			
	サイズ	125/80/16.5		サイズ	200/70R420			
	エア圧	2.1		エア圧	1.8			
チェック	順位	18		ベストラップ	2' 13.062			
	水温	°C		油温	°C			
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km		
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ		

<コメント>

オートポリスの決勝が中止になって鈴鹿でリベンジ!! という思いを込めてやってきました鈴鹿へ。

今回は事前テストが無かったため、いきなりレースウィークです。

前日に民辻選手と新庄選手と合流。

事前にテストできなかったのでもレースウィークに燃費やタイヤ選択、車体のセットアップ、民辻選手の慣らし(?)をしなければなりません。

まずは新庄選手からスタートし、セットを変えずに民辻選手が乗りこむという方向で進めます。

しかし午後の走行で新庄選手が転倒、ライダーは無事でしたが車両はややダメージがありました。

午後の走行までに修理をして民辻選手からスタート、新庄選手も確認のため乗りその日は終了。

転倒してしまうと、セットアップが進まないばかりではなく、修理したパーツの確認をしなければならない場合もあり、さらにライダーの乗る時間も減ってしまうという悪循環になります。

車体の方向としてはフロントフォークの仕様を変更と、一時旋回を出すためにフロントを突き出しヘッドパイプを下げ、リア車高を上げる方向で進めました。

スズキ車は他メーカーに比べて、フロントヘビーになり気味です。路面温度が高くなるとなかなか無理がききにくくなりますが、残念ながら、そこは今回選択できる範囲を超えていたので我慢です。次回に向けての課題です。

そして予選が始まり、新庄選手が2'13"062を出して16番手で決勝を戦います。

スタート直前リヤブレーキにトラブルが出てしまいました。修理が出来ずにそのままスタート。

決勝前、ウォームアップラップ開始から雲行きが怪しくなり、ばらばらと大粒の雨が落ちてきました。

スタート直前に赤旗が出て再度スタートやり直しです。

ピットに戻りレインタイヤでスタートです。スタートして13位を走行して路面が乾きだしました。ピットインのサインを出し、スリックタイヤへ交換し給油を行いライダーはそのまま新庄選手が走ります。

残り周回20周ほどで民辻選手と交代、タイヤはスリックです。雨が降ったりやんだりの微妙なコンディションでしたが、周りのペースは確実にスリックタイヤのほうが速かったのでスリックタイヤを選択、民辻選手のペースが上がらずしばらくすると予定外のピットインをしてきました。レインタイヤに交換してピットアウト。

その時点で順位は大幅に下がり18位でゴール。

なんとともとまらないレースでした。

今回の反省を踏まえて次の8耐ではきちんと対策をして、結果を残しに行きますので、皆様応援宜しくお願いします。

レーシングサプライ
畑中 健太郎